*****光Style

そのだ修光・参議院議員



さらに詳しく知りたい方は、ホームページにアクセスしてください。

そのだ修光

検索 または、https://sonodashuko.com/

×そのだ修光 全国老施協会長

全国老施協理事・

特別 対談

施協に寄せられた 政に伝えていく



しいものがあります。我々はこれ 続いており、環境は依然として厳 化しています。人手不足の問題も がもたらした特養の収益減が表面 に対応していかなければなりませ 平成27年度の介護報酬改定

そのだ 人手不足は極めて深刻

動のある、素晴らしい仕事であり、 信に、より努める必要があります。 さないよう、介護の仕事の魅力発 ブな事例ばかりがマスコミを賑わ ではありません。一部のネガティ アップすれば解消するようなもの **八間の最終地点にかかわれる、感** 介護職員の報酬を月額1万円

> 座る光景に介護職員の意気込みを ひしひしと感じました。 も満席で、通路にまで大勢の人が 施したフォーラムでも、どの会場

> > います。

をしっかり指導していく必要があ 高住の増加など問題が山積です。 しても、国は基準を示して市町村 4月から始まった地域支援事業に 療報酬との同時改定、競合するサ ICT化のほか、平成30年度の診 そのだ 人材確保や現場を助ける

のかといえば、 護度が改善し、支出を抑えられる そのだ 自立支援がうたわれるな 場の方々から意見が出ています。 という標語のもと、さまざまな立 関心事であり、「制度の持続可能性 か、「アウトカム重視」や「インセ ンティブ」が強調されています。 かし、「良い介護をしたら要介 介護分野、とりわ

人間を成長させてくれる職場で ません。

看取りをテーマに本会が実

ため、我々もできるだけ協力して いきます。 制度をより良いものにしていく

介護の在り方は今や国民的 うこともあり、 ていきましょう。 せになる道を求め、 役割は大変重要です。 りまとめるうえで、全国老施協の お互い頑張

やそれにかける思いを語り合ってもらった。 連載開始にあたり、 今後の制度や政策の行方を分析する連載が今号より始まる 全国老施協・石川憲会長と活動の方向性

(全国老施協理事)が自身の活動内容やその目的等を報告し 介護現場を知悉する参議院議員として活躍するそのだ修光氏

け特養の現場はそう簡単にはいき を知る立場から、介護の世界で働 のご家族のため、活躍を期待して く人、そして何よりご利用者とそ 石川 そのだ議員には、介護現場

制度を考える立場です。都市部と 地方では状況が大きく異なるとい ようですが、あくまで全国一律 を聞く」という意識を持っている そのだ。厚生労働省は「現場の声 津々浦々の声をと

策のすり合わせを行い、制度がお よう尽力していきます。国民が幸 互いにとって良い形でうまく回る られた現場の声を行政に伝え、政 私はそうして全国老施協に寄